
バーコードリーダー

ユーザーガイド

SonoSite、SII、Edge II、X-Porte、Edge、M-Turbo、MicroMaxx、NanoMaxx、S Series、M シリーズ、S シリーズ、および SonoSite ロゴは 複数の法域において FUJIFILM SonoSite, Inc. の商標または登録商標として認められています。

その他の商標はすべて各々の所有者の財産です。

Part Number: P11691-06

Publication Date: January 2017

Copyright © 2017 FUJIFILM SonoSite, Inc. All Rights reserved.



バーコードリーダー ユーザーガイド

はじめに	1
製品に関する文献	2
表記規則	2
テクニカルサポート	2
バーコードリーダーを使用した患者情報の入力	3
安全性	3
洗浄	4
仕様	4

はじめに

本ユーザーガイドは、バーコードリーダーに付属する製造元の取扱説明書に加え、使用に関する補足説明をします。バーコードリーダーの取扱説明書と併読ください。本ユーザーガイドでは、バーコードリーダーと超音波画像診断装置の組合せについて説明します。

表 1: SonoSite 超音波画像診断装置と併用可能なバーコードリーダー

バーコードリーダー	SonoSite 超音波画像診断装置							
	X-Porte	Nano Maxx	Edge	Edge II	S シリーズ	SII	M シリーズ	Micro Maxx
JADAK flexpoint HS-1M*	✓	✓	✓	✓		✓		
Symbol LS2208*		✓			✓		✓	
Symbol DS6707**								✓

* USB 接続
** シリアル /RS232C 接続

製品に関する文献

バーコードリーダー製造元が下記の情報を提供しています。ご参照ください。

- 「JADAK flexpoint HS-1M Quick Start Guide」バーコードリーダーに同梱されています。
- 「Symbol LS2208 取扱説明書」バーコードリーダーに同梱されています。また、Motorola のウェブページからもダウンロードできます。www.symbol.com/manuals
- 「Symbol DS6707 取扱説明書」は、Motorola のウェブページからダウンロードできます。www.symbol.com/manuals

超音波画像診断装置に接続して使用するためのバーコードリーダーの設定に関しては、以下の文書を参照してください。

- USB コネクタ付きバーコードリーダー：「バーコードリーダー（USB）インストール説明書」
- シリアルコネクタ付きバーコードリーダー：該当する超音波画像診断装置のユーザーガイド

表記規則

本書では、下記の表記規則に従っています。

- **警告** は負傷や死亡の事故を防ぐのに必要な注意事項について示します。
- **注意** は製品の保護に必要な注意事項について示します。
- **注**：は補足説明です。
- 特定の順番に実行する必要がある手順は、行頭に番号またはアルファベットで示しています。
- 中点（・）は情報を簡条書きしたものであり、手順を示すものではありません。
- 手順がひとつの場合は、行頭に「❖」記号で示しています。

テクニカルサポート

テクニカルサポートの連絡先は以下のとおりです。

FUJIFILM SonoSite, Inc.

電話：(米国およびカナダ)	877-657-8118
電話：(米国またはカナダ以外)	+1-425-951-1330
ファックス：	425-951-6700
電子メール：	ffss-service@fujifilm.com
ウェブサイト：	http://www.sonosite.com
富士フイルムメディカル株式会社	
電話：(日本国内)	03-6418-7190
ファックス：(日本国内)	03-6418-7598

Printed in the U.S.

バーコードリーダーを使用した患者情報の入力

バーコードリーダーを使用し、患者のバーコードを読み取って、患者情報を自動的に入力することができます。患者のバーコードをスキャンすると、患者 ID および当該 ID に関連するその他の情報があれば、ID と共に患者フォーム内に自動的に入力されます。時間が節約でき、誤入力を防止できます。

超音波画像診断装置の機種によっては、患者 ID を読み取ると、ワークリストへ患者情報の照会ができるものもあります。当該機能を使用するには、以下のいずれかの操作を行います。

- (X-Porte) 「User Profile」設定ページで、**Bar Code Auto Query** が選択されていること、ワークリストサーバーが設定され接続されていることを確認します。詳細は超音波画像診断装置 SonoSite X-Porte シリーズのヘルプファイルを参照してください。
- (SonoSite Edge II および Edge) 「Connectivity」設定ページで、**Bar Code Auto Lookup** が選択されていること、ワークリストサーバーが設定され接続されていることを確認します。詳細は「DICOM 機能ガイド」を参照してください。

バーコードリーダーを使用して患者情報を入力する

- 1 Patient をタップします。
- 2 カーソルが Patient ID テキストボックス内にあることを確認します。
- 3 患者のバーコードをスキャンします。

注：

カーソルが Patient ID テキストボックス内に位置付けられ、かつ User Profile ページまたは Connectivity ページで Bar Code Auto Query/Lookup が選択されていないと、患者バーコードから読み取った情報は選択されているテキストボックスに表示されません。

- 4 入力された患者情報が正確であることを確認します。間違っている場合は、マニュアル操作で患者 ID を入力します。

安全性

警告

- 眼の傷害を防止するため、レーザービームを凝視しないでください。バーコードリーダーは Class 2 レーザー製品に該当します。
- バーコードリーダーを患者に接触させないでください。

洗浄

バーコードリーダーの外表面およびケーブルは、推奨される洗浄剤を使用して洗浄することができます。

JADAK バーコードリーダーの洗浄

❖ 「JADAK flexpoint HS-1M Quick Start Guide」に記載の手順に従い、洗浄します。

Symbol バーコードリーダーの洗浄

注意

バーコードリーダーの破損を防止するため、バーコードリーダーは洗浄液に浸漬しないでください。

- 1 バーコードリーダーを取り外します。
 - (USB コネクタ付き) 超音波画像診断装置の USB ポートからバーコードリーダーを取り外します。
 - (シリアルコネクタ付き) バーコードリーダーの AC 電源アダプタからコードを抜き取ります。
- 2 下記のいずれかの洗浄剤および清潔なタオルで外表面およびケーブルを拭きます。洗浄剤はバーコードリーダー本体に直接吹き付けず、タオルに含浸させて拭き取ります。

- Sani-Cloth HB
- Sani-Cloth Plus
- Super Sani-Cloth
- Isopropyl Alcohol Wipes (70%)
- Caviwipes
- Betadine
- 409
- Windex Blue
- Hydrogen Peroxide (3%)
- Clorox Bleach (漂白剤)
- 弱性食器洗い用洗剤および水

- 3 自然乾燥するか、または清潔な布で乾拭きます。

バーコードリーダーのレンズの洗浄に関しては、モトローラ社の「Symbol DS6707 取扱説明書」または「Symbol LS2208 取扱説明書」を参照してください。

仕様

超音波画像診断装置の対応コードは、Code 39 および Code 128 です。



SonoSite

選任製造販売業者：

富士フイルムメディカル株式会社

〒 106-003 東京都港区西麻布 2-26-30

TEL: 03 (6418) 7190

外国指定管理医療機器製造等事業者：

FUJIFILM SonoSite, Inc. (米国)

販売名	認証番号
SonoSite MicroMaxx シリーズ	218ADBZI00032000
SonoSite M シリーズ	219ADBZI00197000
SonoSite S シリーズ	220ADBZI00071000
SonoSite NanoMaxx シリーズ	221ADBZI00091000
SonoSite Edge シリーズ	224ADBZI00053000
SonoSite Edge II シリーズ	229ADBZI00008000
SonoSite SII シリーズ	228AABZI00139000

P11691-06

